

経鼻インフルエンザワクチンのフルミスト、今年もやります！

今年も三重東クリニックでは経鼻インフルエンザワクチンの「フルミスト」を接種いたします！

注射のインフルエンザワクチンとは違って、ワクチンを用意できる数に制限がありますので、フルミストに関しては事前に Web から予約していただくことにしています。令和 8 年 10 月 1 日から接種ができるようにしており、9 月 24 日より予約できるようにしました。接種料金は¥8,000 となります。

以前より当院では「フルミスト」を接種しており経験者もいらっしゃると思いますが、少しだけ説明いたします。このワクチンは、経鼻接種つまり「鼻にシュッとするだけ」で接種が完了します。もちろん、くしゃみが出たりすることはありますが、注射の痛みはありません。そして、基本的に 1 シーズン 1 回の接種であり、今年から来年初めにかけては 1 回の接種でおしまいとなります。注射による痛みがないワクチンになりますので、注射がとても苦手な人には朗報ですね。

また、インフルエンザウイルスは主に気道粘膜に感染するので、鼻腔に直接免疫をつけるフルミストは現行の注射ワクチンで誘導される IgG 抗体だけでなく、**気道分泌型 IgA 抗体**（これが、インフルエンザを実際に予防する抗体です）も誘導するため、フルミストは特に小児において注射のワクチンより予防効果が高いのではないかと推定されています。

ただ、注射のインフルエンザワクチンは「不活化ワクチン」といって、インフルエンザウイルスを感染しないように完全に殺した状態にまで処理してワクチンにしています。今回のフルミストは「弱毒生ワクチン」といってインフルエンザウイルスをすごく弱くして、**生きている状態**で入れてあります。（麻疹風疹ワクチンや水痘、おたふくかぜワクチン、ロタウイルスワクチンも同じく生ワクチンです。）そのため、今までのインフルエンザワクチンと違うような副反応が生じる可能性があります。

具体的にはフルミストを接種した後に、①1～10%程度の人にインフルエンザに似た症状（発熱、鼻水、喉の痛み、咳、頭痛、筋肉の痛み）が見られることがあります。②10～50%程度の人に軽い鼻づまりや喉の違和感が見られます。

これは、**軽いインフルエンザの症状**とみなせますので、**お熱が出た場合は免疫の弱い人との接触を避けてください。**

接種できる年齢は 2 歳以上 19 歳未満の人となります。2 歳未満の子に接種すると、副反応

の症状がひどいことがあります、日本では認可されていません。アメリカなどでは 19 歳以上の
人にも接種可能ですが、これも、日本では認可されていません。

接種できない人についてまとめました。

- 2 歳未満と 19 歳以上の方
- 5 歳未満で繰り返す喘鳴の既往があり、現在も喘息症状がある方
- 卵白やその他のワクチン成分に対して重度のアレルギーのある方やアナフィラキシーの既往がある方
- アスピリン服用中の方
- 免疫が著しく低下している方、または免疫力が著しく低下している人と同居している方
- 明らかな熱（37.5 度以上）がある方

接種を、ご検討ください。よろしくお願いします！